

# 2012年度 第7回 静岡市外国人住民懇話会会議録

- 1 日時 平成24年12月21日（金） 19:00～20:30
- 2 場所 静岡市クリエイター支援センター1階 第2会議室
- 3 出席者 外国人住民懇話会委員7名  
アウン タン ウー、王川 絹子、上地 セシリア 恵美子  
コルベイ スティープ、宋 在英、朴 政浩、  
マハラジャン ディリブ

事務局 4名、静岡市国際交流協会 1名

## 4 次第

- (1) 開会
- (2) 意見交換
- (3) 事務連絡
- (4) 閉会

## 5 会議内容

コルベイ会長

今日は、お手元にお配りした提言をもとにまとめたいと思います。それでは、提言について、みなさまのご意見をお願いします。

上地副会長

防災に関する取り組みについてですが、いざ災害のときに頼りになるのは、近所に住む人と書いてありますが、これを追加するべきかどうかわかりませんが、外国人が自治会に参加してもらうためには、やはり自治会によって、積み立てのようなかたちで、自治会費を基金されることもあるのですよね。そうしたら、自治会費として、一軒家はいくらとか、独身の方はいくらとか、ちょっとした気持ちのようなかたちで登録できて、とりあえず自治会には参加できるというかたちはどうかかなと思いました。

学生がいるところや、独り者のアパート、マンション、一軒家はほとんど引っ越しすることもないので、それで積立金のようなものやっつけていけばいいかなと思いました。

じむきょく  
事務局

じちかい ちょうないかい かいひ  
自治会・町内会の会費ですね。まいつき しゅうきん かいひ  
毎月いくらかか集金されている会費を、いっこだ かつ  
一戸立ての方と  
たんしん かつ  
单身の方と差をつけるということですね。

ふくかいちよう  
副会長

そうです。わたし ちく いったんや かつ つみたてきん  
私の地区は、一軒家の方は、積立金のようなかたちでやって、マンション、  
アパートの方は、アパートの会費を払って、独身の方は、みんなと同じように払いたい人は  
払ってもらっているのですが、がくせいとかにいったんや おな  
学生とかに一軒家と同じくらいの会費を払ってと言っても、  
まず無理だと思うし、1年や3年、4年ぐらいで、またどこかへ行ってしまう場合もある  
ので、とりあえず、500円とか1000円でもいいから納めてもらって、なまえ れんらくきき なに  
名前や連絡先、何かあ  
った時に、だれ れんらく  
誰に連絡すればいいとかを登録するようなかたちでやれば、いいじゃないかな  
と思います。

じむきょく  
事務局

にほんじん がいこく かつ かんけい  
日本人も外国の方も関係なく…。

ふくかいちよう  
副会長

かんけい  
関係なくですね。あまりがいこくじん だからという、にほんじん  
外国人だからという、日本人もおもしろくないところもある  
と思うので、どうかなどは思うのですが。

じむきょく  
事務局

じちかい れんごうかい そしき  
自治会連合会という組織がありますので、そちらに意見をお伝えするということはでき  
るのですが、ぎょうせい ちよくせつほんだん  
行政が直接判断できないので難しいところもあります。あおいく くみんこんわかい  
葵区の区民懇話会が  
ありまして、くみんこんわかいのほうで、じちかい ちょうないかい  
自治会・町内会にどうしたら人が入るかという策を考  
えておりまして、かいひ わりび  
会費を割り引くという同じような意見がありました。

ふくかいちよう  
副会長

ありがとうございます。

いじん  
ウー委員

1つお聞きしたいのですが、ぼうさい かん とく  
防災に関する取り組みのなかの、りゅうがくせい とくにほんごがっこうせい  
留学生、特に日本語学校生  
など静岡にきたばかりの外国人に対するぼうさい くんれん じっし  
防災訓練の実施というのは、事実上、市でまだ行っ  
ていない、りゅうがくせい たい  
留学生に対してまだ実施していないということですか。

じむきょく  
事務局

き ひと  
来たばかりの人には、まだ実施していません。

ウー委員

来たばかりというのは、どのぐらいの期間で考えていますか。たとえば、来てから6ヶ月以内とか、1年以内とか…。私が知りたいのは、来たばかりの人に対してはやっていないですけれど、どのぐらいの頻度で実施しているのですか。

事務局

去年、今年と、ブラジル、フィリピンの方に対してやっていますが、年数で決めているわけではないので。

ウー委員

それは留学生、学生ではないですね。

事務局

そうですね、留学生ではないです。

ウー委員

そうすると、今まではまだやってないですね。

事務局

前々回にも少しお話しましたが、今年度最初に日本語学校を回って、市役所の出前講座をやっているのですが、防災やごみ等、必要な出前講座をやりますけどいかがですか、ということをお願いに行きました。やってみたいという学校はあるのですが、プログラムが忙しくて、学校でやるには時間が取れないというお話がありました。学校としても、当然市の人に来てもらい、防災やごみの出し方等教えてもらいたいけれど、なかなか時間がとれないということもあり、今まではなかなかできなかつたと思います。

ウー委員

留学生の場合は、みんな学校に通ったり、アルバイトをしたり、ほとんど時間がなくて、参加してと言ってもなかなか参加してもらえないと思うのですね。そうすると、やはり市が日本語学校を説得して、ちゃんと授業のなかで取り込む、もしくは授業外の少しあいた時間でやってもらうしかないのかなと感じています。

そうじゃないと、なかなか難しいですからね。やはり学校側の協力も必要だと思えますね。地震があった時に、どこに逃げればいいのか、自分のアルバイト先がどこにあって、その近くにどのぐらいの高さがあるのか、どうやって避難するのか、緊急時に誰にも頼らずにどうやって自分一人で逃げ出すことができるのか、そういうことを学校側にやってもらえればありがたいですね。

事務局

そのように提言していただければ、私たちも学校に行った時に言いやすいですし、助かります。

ウー委員

断られて実施しないと、やらない期間が続いてしまいますからね。

事務局

市内には、大きい日本語学校3つありますが、ようやく1つのところで、1月ぐらいに、国民健康保険、年金、ゴミの出し方をカリキュラムに入れてもらったので、同じように防災についても、そのカリキュラムに入れてもらって、30分でも1時間でもいいので、新しく来た方に、市の方で出前講座ができればいいなと思います。

事務局

各区に防災担当があり、よく出前講座に行きます。3.11の関係で、去年は葵区で100近く出前講座に出ています。2日に1回出ているという感じですが、実際には土日、平日の夜間にも出ています。それは防災講座を利用する可能性がありますね。防災訓練の実施と書いてありますが、訓練という大きなイメージを持ってしまうので、防災講座とかのように提言で述べていただくと、こちらでも相手に語りかけやすいですね。

朴委員

やはり出前講座は好評ですか。

事務局

好評です。区の場合は、その区の中で動いていますので、出前講座の要望が来ると、そこへ行って、その地区に合わせた講座を行います。各地区違いがありますから、その地域に合わせた講座を区の方でやってくれますので、留学生であれば、留学生に合わせた講座をやるはずですので、ぜひ活用していただきたいです。

朴委員

素晴らしいですね。1年半もやっているものですから、過去に発言したと重複しているかもしれませんが、学校とか日本語学校、大学の方にうまく交渉していただければ。僕が漠然と浮かんだのは、日本語が達者でない、達者な方でも、ビジュアルで入ったほうがいいのかと、作る側は大変ですが…。ちょっとしたDVDを作ってあげて、〇×を使ったゴミの出し方、あるいは免許の更新などで見るような教材的なDVDのようなものを見せたほうが早いのかなと思いますね。

じむきょく  
事務局

DVDは前々回の提言ですすでに作りました。

そんいん  
宋委員

実際に見たことがあります。日本語学校にもあるような気がします。

じむきょく  
事務局

ゴミの出し方とか近所付き合いとか、大きく分けてはいないですね。例えば、以前、外国人登録のところで少し流したり、限られたところだけだったので、広く知れわたっていないかもしれませんね。

ぼくいん  
朴委員

その出前講座とからめて使用すれば…。

じむきょく  
事務局

考えを1つに集中して、防災なら防災に力を入れて作れば、みんなの記憶に残りますね。

ぼくいん  
朴委員

逆に、3.11で一般市民、日本人の方で好評であれば、当然外国人の方にとって好評なはずなので、そういう需要もあるはずだし、要望はあると思いますから、大変良い試みだと思えます。

そんいん  
宋委員

少し話が変わりますが、同じ留学生の話で、留学生に対する支援のなかで、交通ルールに不慣れである留学生たちに交通安全教室を実施すると書いてあるのですが、実際に、私は実施していると思っているのですが、提言になっていますか。

じむきょく  
事務局

意見交換の中でいただいた話のなかでは、交通安全教室をもっとやったほうが良いということでした。

かいちょう  
会長

その話はありませんし、外国人、特に留学生とか、私が覚えている話では、留学生がバイトをする時、自転車とか原付で移動する時、そういうルールを全く理解していないので、事故に遭った時に連絡先を交換しないとか、そういう被害があった外国人の身を守る

ために、もっとしっかり交通ルールを教えなければならないというような話でしたし、まだまだ足りないということを言っていた人も何人かいましたし、朴さんもおっしゃっていましたよね。

朴委員

そうですね。

事務局

交通安全教室という言い方じゃない方がいいですか。

宋委員

いえ、交通安全教室の実施と書いてあるけれど、実際に日本語学校の時に、私は受けたことがあるし、今もやっているし。

事務局

学校に交通安全指導員に来ていただいてですか？

宋委員

はい。ビデオを見て、その後、そのまま現場へ行ってやります。おそらく私の時は2度ぐらいあったような気がします。確か、そういう話は前にも出たことがあると思うのですが、これをもっと詳しくやって提言した方がいいと思います。

朴委員

そうですね。おそらく事故が起きた後が問題になると思うのですよね。交通ルールがどうこうではなく、みんなトラブルになるのは事故後なので、先ほどおっしゃられたような保険とか年金とか、事故後になると、保険がどうしてもからんできて、切っても切れないものとなりますよね。留学生とか外国人の方は、日本のシステムが絶対わからないと思うので、やはりそれらをリンクして教えた方がいいですよね、警察は必ず呼ばなければいけない、保険の過失割合、自賠責等。でなければ外国人は絶対に損するので。国籍関係なく事故は起こすと思うので、事故後のフォローをしてあげることが大切になってくると思いますね。

宋委員

そうですね、事故が起こった後の対応を中心に、もう少し詳しくした方がいいかもしれないですね。

朴委員

日本人ですら、交通ルールをよくわかっていないですよ。みなさんお互い様な部分があると思うので。

宋委員

この交通ルールというのは、主に自転車だと思っておりますよね。

会長

そうですね。留学生はやはり、原付と自転車ぐらいですね。

朴委員

病院、保険との兼ね合いが必ずくっついてきますので、そこを説明してあげないと、絶対に損をしてしまうし、かわいそうです。

事務局

どこに相談に行っているのかわからないということですよね。

朴委員

そうですね。

会長

大体の人が自転車に乗るから、一番弱い立場じゃないですか。何かあったら、一番損する可能性が大きいので。

朴委員

そうですね。そこら辺をもう少し救済できるような方策が必要なのかなと。

事務局

国際交流協会に、このような相談は最近ありますか。

国際交流協会

ベトナムの子が事故に遭って、自賠償に入っていなかったものでどうすればいいのかという相談はありました。

朴委員

結局自分で、勤め先で知っている誰かだとか、個人の力で処理する破目になるので、最悪

泣き寝入り、お金があれば弁護士となりますが、そうあるケースではないので、難しいですけど、何か上手い方法があればいいのですが。

事務局

相談できることを欲しいですというような提案をしていただければ…。

宋委員

それがあればベストなのですが、私が思うのは、留学生は単純で、事故が起きた後にどうすればいいかという流れのものを…。私も自転車事故の経験がありまして、その時はパニックで、そのまま学校に行っちゃいました。でもその時に、事故が起きたら、まず学校に電話するというような流れだけでも、すごく助かると思うのですよね、そのままその場を出ちゃいけないとか。

事務局

行政と学校が連携して、そのような情報を与えるというようなかたちですか。

朴委員

留学生に対しては、それが一番手っ取り早いし、効果的です네요。

事務局

学校側は、何かあったら学校に連絡しなさいとか、こちらの窓口や体制を伝えておけば…。

朴委員

そうですね、ある程度の側面支援ができるのかなと。場合によっては、とんでもないお金になってしまうことも多々あるでしょうから。

会長

あとは、自転車保険もありますよね。でも、誰もこのような存在があることはわからないし、自分にもそういう知り合いがいて、自分のせいで、ぶつけて、何十万円も損したそうです。それも例えば、2、3000円で毎年自転車保険に入った方がいいとか、そういうことも勧めた方がいいかもしれないですね。それも外国人を守るための方法になると思うので、保険のことも軽く話した方がいいかもしれないですね。

朴委員

行政の立場からすると、うまい具合に大学や日本語学校を利用できれば…。ある程度

良心的な学校もあるでしょうし、外国人支援と留学生支援ともなれば、嫌がることはないと思いますよ。静岡市は、10年前は日本一の自転車保有率だったのではないですか。昔は、日本の北京と言われたぐらい自転車が多かったですよ。

#### 事務局

今でも自転車は多いですね。今の市長が、自転車のまちづくりというのをやっております。

#### 会長

自転車の走りやすさや駐輪場の問題、特に駅周辺は大きな問題だと思えますが、結局駐輪場がないので、外国人だけではなく、日本人も違法駐車をしてしまっています。それだったら、車を優先すべきではないのかとなってしまうので、もうちょっと駐輪場も増やさないと。毎回100円払わなければならないし、まちづくりのことを考える時に、もう少し無料の駐輪場を設置するなど考えた方がいいと思います。

#### 朴委員

提言というか、懇話会のことで提言していいですか。今日こういうスタイルになって、しゃべっていますが、今までで一番いいかたちできているような気がします。前の大田区では、委員の内訳が日本の方が多かったですね。やはり外国人を主として、市の方も一緒に意見交換された方がより密というのか、レスポンスも早いですし、今更ながら思ったのですが。

大田区は、市の行政に対する批判ばかり恐れていたもので、同じ席に座るのを必ずしもよしとはしていませんでしたが、やはり静岡の方は真面目だと思うし、静岡に住んでいる外国人も真面目だと本当に思うのですよね。結構言われたことをやるのですよ、県民性、市民性のせいなのかな、違う場所から来ても染まってくるのかなと思います。

来年度以降、誰がどうなるのかわかりませんが、提言として、四半期一回だと厳しいと思いますし、せめて偶数月に1回、奇数月に1回、年に6回、前も言ったのですが、その分ギャランティを抑えてもいいと思います。でなければ、僕が一番恐れるのは、せっかくいい集まりなので、これが芽となって、花となって咲いていけばいいのですが、提言して、打ち上げ花火で終わってしまいました、となると、大変悲しいし、もったいないというふうに思います。

今後のために、もう少しスパンを置く率を細かくしていただいて、市の方の参加の頻度を、もう少しあげてもらえれば、よりいいかたちになるんじゃないかと、僕は思います。

#### 事務局

4として、「懇話会のあり方について」提言するということですね。

かいちょう  
会長

お金の問題もあると思いますので、例えば、見学をやめて、その代わりに全員の懇話会、おっしゃったとおり1年に6回、県外の見学を中止にするというような可能性もありますね。見学は、参加できる方も少ないし、負担もありますので、その代わりに1年6回やるという方法もありますが、みなさんはどうでしょうか。

ふくかいちょう  
副会長

日本人の懇話会もあるのですよね、区民の。1回顔合わせみたいな感じとかで見に来てくれるとか、意見交換とかどうかと思ったのですが。地区に住んでいる外国人が多い場合は、やはり意見もあったりすると思うので。

ディリブ委員

磐田の方はそうでしたよね、日本人や企業の方が集まって…。

ふくかいちょう  
副会長

そうですね、外国人に関係する方も参加してもらおうとか…。

かいちょう  
会長

日本人住民の懇話会もおっしゃっていましたが、その懇話会でも市長への提言があって、共通の問題が多いと思いますので、同時に同じ提言を出せばいろいろ解決できるし、例えば外国人だけではなく、すべての住民が感じている問題でしたら、日本人住民懇話会と外国人住民懇話会が同じ提言をすれば、可能性が増えますので、そのような交流が1年に1回ぐらいできたらいいと思います。

ディリブ委員

市長も、地域密着型とおっしゃっていたので、外国人、日本人関係なく一緒にできたら、一番いいと思います。

じむきょく  
事務局

前々回の提言を受けて、各区の区民懇話会に外国人委員1人ずつ入っていただいているのですが、今度は会議自体を一緒にということですね。

かいちょう  
会長

そうですね。王川委員は何かありますか。

おうかわいじん  
王川委員

皆さんそれぞれ意見を出して、賛成です。本当によくまとめて、更に今日の追加の意見も、本当に賛成ですね。防災訓練の実施のことは、本当に行政の方は一生懸命にやっていて、要請あればどこでも飛んで行って、本当に好評でした。私も、地域の夜の無料の集まりに行った時に、こういう講座を受けて非常に良かったです。多分、要望がないと行政は来ない。今回は逆の立場で、行政から積極的に、留学生の学校へ行きたい、出張講座へ行きたいと、積極的にやっているところがいいなと思いますね。

交通安全教室についても、警察署は本当に一生懸命で、要請があればどこでも飛んで来ますよね。だから、今回は要望だけではなくて、積極的に日本語学校に働きかけていこうと、これも非常にいい提案だなと思っています。本当に賛成です。

### 事務局

事務局からですが、最後の方に、留学生は勉強が忙しいが、日本で生活していくために、アルバイトに多くの時間を使っている。留学生の奨学金制度を創設したい。これは最初の方に懇話会の中で出た意見ですが、当然お金がかかる話です。政令指定都市の中でやっているところもあるのですが、先が見えないものを提言で出すのはどうなのかと、事務局としては考えていますが、みなさんはどう考えていらっしゃいますか。できれば一番いいのですが、ぜひ作ってくださいと懇話会から出しても、なかなかすぐには難しいと思います。

### 会長

大学とかでは今までも奨学金などがありますが、日本語学校では奨学金がないですね。留学生というより、日本語学校の留学生向けの奨学金ですね、そこはもう少し詳しく書かないと、もともと大学にはそういうシステムがあるので、大学に留学される方はだいたい奨学金があるので、日本語学校のための奨学金が必要かどうかという議論をしてもいいのかなと思います。

### 事務局

奨学金というと、特定されていますね。そこが一番難しいところで、市長は、静岡市に留学生をいっぱい呼ぼうという話をして、留学生を呼ぶための支援策とか、例えばお金だけではなくて、この前、県の大学へ行ったら、留学生が一番困るのは、住むところやアルバイト等で、他にも困っていることがたくさんあるそうです。ですから、留学生がぜひ静岡を選べるような支援策のようなかたちを出したいですね。

### ディリブ委員

私も留学した時に、大阪だと留学生向けの寮とかあるのですが、静岡にはないですね。県立大学の方にも以前提案したのですが、奨学金と言っても日本語学校より大学の方がいい

と思いますね。寮も含めて、そういう施設の提案はいいと思います。

会長

確かに静岡大学でも寮がありますが、結構満室になっていますので、新しい人を増やしたい場合は大変になりますし、例えばフランスのような大学のまちづくり、寮を増やして留学生と日本人が交流できる場所を作らないと、やはりアピールしにくいと思います。国際交流会館のようなものがあつたほうがいいと思います。

事務局

会長がおっしゃったような、留学生と日本人が交流できる場所、支援策について、もっと細かく提案していただけるとありがたい。関係課の方にその提言の実現をお願いするわけですが、そのお願いをする時に、奨学金制度を創設したいという提案だけとなるとなかなか難しくなり、そこで話が止まってしまう。これをもう少し膨らませていただくと、それ以外の課にもお願いに行けるわけですね。そうすると、その中の1つが実現するかもしれないので、選択肢をいくつか増やしておいていただくと助かります。1つだと1つのお願いとして終わってしまうので。

会長

みなさん賛成していそうですが、念のために、修正するかどうか賛成する方は手を挙げてください。全員賛成なので、修正できますね。

事務局

先ほど、留学生と日本人の交流の場という意見が出ましたが、それについて何か提案かありますか。

会長

そうですね、今は、大学内ではそういう交流機会があると思いますが、あくまで静岡大学の、県立大学の留学生同士だけになりますので、留学生がいない、短期大学とかほとんど留学生がいない場所とか、もし大学へ行かない日本人、若い日本人も留学生と交流ができないので、もうちょっと他の大学や若者でも留学生と交流ができる場所があれば、それはすごくいいと思います。すべての留学生や若者、希望者、社会人も。例えば、すべての人が利用できるようなイベントとかやればいいと思いますね。

ウー委員

会長のおっしゃった意見と別になってしまっていますが、大学生に対する支援や奨学金の制度は、ある程度実施されているところもあると思いますけれど、一番難しいのは、先ほ

どおっしゃったように、これから静岡市あるいは静岡県ですが、留学生をたくさん受け入れたい、そうすると、割合で見ても一番多いのは日本語学校の学生で、彼らに対しての支援策が、現実的に大学に比べると、実施されていないですよね。

そうすると、奨学金制度を創設したいということ、率直な言い方で難しいかもしれないけど、必ずしも奨学金ではなくて、例えば住まい、市の方で市営住宅とか、県営住宅とか、例えば誰かが使っていた古い家や今は使われていない家とかを支援してもらうのはどうでしょうか。

アルバイトもそうですが、静岡市内のいろいろな企業が、市や日本語学校と提携して、静岡市内に来る学生に、1ヶ月以内は生活に困らないように支援しますといったように、住まいとアルバイトの2つだけでも支援していただければ、奨学金までいなくてもいいのかなと思います。最初来た時に一番困るのは、住まいとアルバイトですね。住まいは、平均1人2~3万円なので、それより少しでも安くしたら学生は助かるので、そこまでやってもらえれば、奨学金までやってもらわなくてもいいのかなと私は思います。

#### 会長

例えばこれからの日本語学校生でも、大学生でも、インターンシップ制度も考えた方がいいと思います。例えば、アルバイトも生活費のため必要だと思えますが、自分の専門と繋がっているところ、または自分の興味に繋がっているインターンシップができれば、もう少し静岡市に残る可能性があると思えます。

留学生が来ても、すぐ帰ってしまうとか、すぐ東京へ行ってしまふとかだと、やはり長期のことを考えると、静岡にはそんなにメリットがないので、静岡に来て静岡に残るという制度も考えたほうがいいのかと思いますので、そうすると、やはりインターンシップのようなもので、企業にアルバイトの感覚だけではなく、長期でできる仕事を紹介すれば、そういう優秀な人材が東京へ行く代わりに、自分のインターンシップした場所を思い出して、就職をしてみたいと思ったら、それは静岡市にとっては更にメリットになると思えます。

だから、静岡市はそういう日本語学校生や大学生、専門学校生と民間企業の間で、そのようなかたちでできましたら、あまりお金もかからないと思えますし、これから静岡市に残る外国人は増える可能性があると思えます。

#### 事務局

静岡市、他の都市もそうなのですが、人口が減っているので、留学生を増やして、定住ではないですが、交流人口、留学生を増やす、留学生に静岡の良さを語ってもらって、その中で、静岡に中小企業が多いものですから、そういう技術を海外へ輸出できる人材を育てたいということを市長は言っていました。

それをやっていくと、最終的に静岡市の定住人口が増えていく、もしくは現状維持ができるのではないかと。その中で何をやるかと言うと、市営住宅を含む、住むところ、そ

れからアルバイト、勉強するにもアルバイトが不定期だと集中できないので、企業と提携するインターンシップのこと、できればその企業に残ってもらいたいということを提言してもらえればと思います。

ですから、静岡市に外国人を大きく呼び込んでくれるような、そういう政策を出してほしいというものをいれてもらうとすごくいいかと思えます。

みなさんが感じている住宅や仕事、アルバイト、就職先ですね。日本人でさえ就職は厳しいので、当然外国人が静岡で就職するとなれば、当然静岡も発展しますので、そのようなところで、静岡に外国人がたくさん来てくれる政策があれば、この中に盛り込んでいただきたいです。

#### 宋委員

実際に、日本語学校生に対してのアルバイト、寮ですけど、結局日本語学校側の負担が大きくて寮を諦め、アルバイトもいっぱいいっぱいなかでやっているところだと思うのですが、前から私は留学生にホームステイをしてあげたいと思っていました。

ホームステイするには、市民の協力が必要だと思いますが、ホームステイが少しずつ増えていけば、交流とかも結構できるし、市や関係団体のホームページとか利用すれば、まだ日本へ来ていない子たちに知ってもらうこともできますよね。私もホームステイのオーナーとしてやってあげたいなと思っていましたので、そんな場所もちよっといいかなと思います。

#### ディリブ委員

それはすごくいいアイデアですね、日本人でもやりたい方が、結構いらっしやると思うし、特に定年後の方々とかね。

#### 宋委員

留学生が多い海外には、ホームステイも多いですよ。私もホームステイの経験があるし、ホームステイが活発になれば、多分留学生も増えるのではないのかな。

#### ディリブ委員

長期で受け入れるところがあれば、よりいいですよ。

#### 朴委員

やはり静岡は住みやすいと思えます。多少物価は高いですが、子どもを育てるにもいい場所だし、富士山に代表される日本の真ん中でもあるし、アクセスもそんなに悪くないので、外国に発信しているとは思いますが、ホームステイとからめたら面白いですね。

## 事務局

今年の初めに日本語学校を回ったとき、静岡市をPRするDVDは、全然だめだねと言われました。行政の立場で、観光とか静岡のいいところを入れているのですが、静岡に留学生を呼ぶDVDじゃないと言われました。例えば、もっと呼び込むために効果的なDVDを懇話会で作りますとか、広報に協力しますとか、市役所に作ってもらうのではなく、ノウハウをお貸ししますよというような提言もいいかもしれないですね。

## 朴委員

そうですね、一方通行だと、しんどいですね。

## 事務局

当然市の方では作りたいのですが、普通に作るとお金がかかるので、出演者に日本語学校生等に出でただいて、外国の方から見た静岡の魅力というのをPRした方が、日本人がPRしたい部分とは全然違うと思いますので。

## ディリブ委員

実際にインタビューを受けながら、またホームステイ先にもインタビューしながらPRしていけば、更にいいかもしれないですね。

## 会長

静岡でしかない研究や勉強もアピールした方がいいと思いますね。ホームステイは日本で実現しにくいかもしれないけれど、フランスでは、オーペアという子どもがいる家庭に無料で受け入れるのですが、代わりに家事や子育てを手伝うという制度があります。

お金もかからないし、子育ても支援する制度になっていますので、そのような制度をホームステイの中に取り込んでみてもいいかもしれませんね。

## 事務局

日本人はホームステイに慣れていないので、やりたいけれど、どうすればいいのかわからないですね。制度自体を広く知らしめることも1つの手段かもしれませんね。

## 朴委員

少し話が変わりますが、前にも言いましたが、大道芸の素晴らしさをもっと自慢してもいいのではないかな。他の行政は真似できないと思うので、これを使わない手はないと思います。オリジナリティーもあるし、こんなにも集客しているし、長い歴史があるし、正直PRが下手だと思いますね。恒例化もして、規模も大きくなっていますし、武器として何かに使えないのかな。もったいなくてしょうがないですね。

## 会長

静岡市に住む外国人に母国でPRしてもらおうというのもいいですね。

## 事務局

日本語学校で使うDVDの話と同じですが、行政が考える静岡市と、みなさんが考える静岡市は違いますよね。大道芸については、行政でも比較的推しているのですが、もし行政が静岡市をPRするDVD作るなら、日本平からの富士山やお茶などをメインに作ると思います。例えば日本、中国あるいは韓国に留学しようかと悩んでいる人が見た時に、静岡の良さを感じるのかどうかは疑問ですが…。人それぞれ感じ方が違うので、行政だけ作るよりは、共同で作った方が効果的かなと思います。

## ディリブ委員

教育や生活状況とかも、みなさんに出演してもらってPRすれば、もっとインパクトがあるものができるし、安くできますよね。

## 会長

あと、短期留学のことも考えなければならぬと思います。例えば、夏だけ来てもらって、静岡の良さを紹介して、外国人、留学生も含めて日本にいる時に、茶道教室や華道、着物等の日本の文化体験をアピールすれば、そういう体験から、最初は長期を考えなかった方も、静岡はいいなと思うかもしれないですね。

私が韓国留学生と話した時に、韓国だと、大学は大都会でないとだめというイメージが多いらしいので、最初から静岡を選ばないと思いますが、まず短期で来てもらって、そうしたら、田舎じゃないとか、魅力的なところがたくさんあるとか、長期に留学しようとか考えるかもしれないし、留学だけではなく、文化体験や生活紹介もしながらアピールすれば、翌年にも来てくれる可能性が増えると思います。

## 朴委員

それこそ静岡が持っている唯一のもの、タミヤをはじめ、バンダイの工場、西ヨーロッパではオタクの文化が凄まじいので、世界に投げられる1つのツールにもなりますし、1つの強い武器にもなりますよね。

## 会長

そうですね、バンダイともう少し連携して、工場見学とかありましたら東京からも来てもらえenと思いますし。見学がだめでも、別の方法でアピールしたり紹介したりできたらいいですね。

そんいん  
宋委員

すみません、提案の中でみなさんに確認してもらいたいものがありまして、子育てに関する取り組みの中で、外国人の親も地域のコミュニティに入っていく努力が必要と書いてありますが、これを提言とするのですか。どういうふうに必要なのか、もう少し詳しく話し合いたいです。

その下の、外国人の親へ子育てに関する情報提供をするときにやさしい日本語を使用するという部分も、前の防災に関する時にやさしい日本語を使用するということはわかりませんが、これはどうでしょうか。

ふくかいちよう  
副会長

多分これは、連絡が回って来る時に、日本人の方に回すのと同じように言うと、なかなか分かりにくいことがあったりするから、やさしい言葉とかを使ったほうがいいのかなと思ったのですが、今のいくつかの学校は、大事な連絡とかメールで回ってきますよね。ポルトガル語で、台風が来るから明日学校は休みだよとか、ちょっとした連絡をポルトガル語で案内する学校もあるみたいです。なので、これはどうでしょう、必要あるのですか。

そんいん  
宋委員

必要だとは思いますが…

かいちよう  
会長

言葉の問題ですね。内容は、もう少し詳しく話してほしいのですが。宋さんどう思いますか。どうすればいいですか。

そんいん  
宋委員

私は、これはすごく難しい問題だと思えます。やさしい日本語を使用するのは、現実的にすごく難しいと思えます。

かいちよう  
会長

それは何が難しいですか。

そんいん  
宋委員

例えば、今の私の小学校の先生が、やさしい日本語で話したり、文章を作って送ったりすることは、すごく難しいことだと思うのですが。

かいちよう  
会長

時間の問題とか、わざわざ一人のためにそういうことをするとか。でも多分これは教員がやることではなく、恐らく市が作る簡単な日本語で書かれたものとかだと思います。

#### 副会長

多分この提案は、樋熊さんが日本語が難しいというようなことがあったからという話でしたよね。

#### 会長

市が、教員と外国人の間のコミュニケーションを支えるために、例えば、明日台風だよ、明日休校だよというような程度、緊急連絡や、よくある連絡、遠足、運動会等の話のレベルだと思います。自分の子どもに関して連絡とか、子ども個人の問題に関しての話ではないですよ。

#### 宋委員

この文章に、学校からの緊急連絡等とか入れて、もっと詳しく提言した方がいいと思います。

#### 事務局

詳しくというのも、1つの方法だと思います。個人的な意見ですが、先ほど最初におっしゃっていたように、ここでは、やさしい日本語を使用するとか特定しているので、例えば、最近学校でも外国人の子どもが増えて、日本語がわからない親も増えていきますので、配慮をお願いしますと書いて、結局、先生もやさしい日本語で書けばいいのですが、外国人が増えて、接し方がわからない人もいます。

言葉もそうですが、習慣も。ですから、例えばそういう先生を集めて、中国系の子が多い学校では、中国人の子に教える時には、このような注意が必要とか、このような配慮してほしいというような案を出すことも、1つの手段なのかなと思います。これだと正直に言って、やさしい日本語を使ってくださいねと先生に言うと、わかってくれる人はわかってくれますが、正確にはわからないので、配慮という中でこちらからお願いしに行く時に、やさしい日本語を使ってくださいね、国際交流協会、市民生活課に相談員がいるので、対応ができなかったらこちらに連絡くださいと言えば幅は広がると思います。

#### 王川委員

子育てに関する取り組みの中の、外国人の親も地域のコミュニティに入っていき、努力が必要と書いていますが、確かにそうですよね。前回これについて、たくさん発言したのですが、実際に地域ではたくさんやっています、この情報をどのように上手く外国人の方に伝えること、本当にそれぞれの地域は、いろいろな角度から子育て支援を行っています。親

はもちろん努力が必要だし、情報をどのように伝えるかという角度から考えた方がいいのかなど。もちろん外国人も努力は必要です。実際に行っている地域の子育ての現状や情報をどのように伝えるのかなと思います。

会長

確かにそうですが、これは提言には必要ないのかなと思います。市長にお願いしても応援以外何もできないので、コミュニティに関しては消してもいいと思います。時間の関係で、最後に何か一言ありますか。

朴委員

そうですね、これからまとめに入るとは思います。前に一度発言したのですが、これだけは反映していただきたいと思うのは、いろんな問題がありますが、キーワードとして取り上げていただきたいのは、日本人だろうが、外国人だろうが、静岡市に住んでいれば、同じ静岡人であるということ。共通意識として持ちたいというのが本音です。「静岡人」というキーワードではないですが、国籍に関係なく静岡の仲間であるというかたちで取り込んでいただければと思います。

会長

すごくいいと思います。これからいくつか提言をしますが、日本人でも外国人でも同じですというメッセージを考えながら提言したということも主張した方がいいと思います。

事務局

ありがとうございました。今日いただいた意見をもう一度まとめて、またみなさんに最終確認をお願いさせていただければと思います。

会長

これで本日の懇話会を終わります。みなさん長時間にわたりありがとうございました。